

第 10 回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず「企画シート作成上の注意」をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
リュウコクダイガク	ケイエイガクブ	イワタ ヒロシ ゼミ
龍谷大学	経営学部	岩田 浩 ゼミ

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
テトラポットカモメ	タナカ ナナ	5
テトラポットとカモメ	田中 七菜	

研究テーマ（発表タイトル）

藤岡酒造って知ってはる？～伏見で最小の酒蔵による経営戦略～

1. 研究概要（目的・狙いなど）

本研究の目的は、藤岡酒造の課題を明らかにし、成長戦略を提案することにある。日本三大酒処の1つである伏見という激戦区で、最も小さい酒蔵である藤岡酒造が今日までどのようにして生き延びてきたのか。これを私たちが自ら足を運び、経営学的視点で考察し、今後の成長戦略を提案する。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

藤岡酒造は 1902 年に開業し、その当時は生産量 1200 石から始まった。最盛期には 8000 石にまで生産量を増やしたが、阪神大震災と 3 代目の急死によって廃業に追い込まれた。その後 2002 年に現社長である 5 代目が倉庫を酒蔵に改築し、全国各地の酒蔵で研究を重ね、酒造業を再開した。最初の年は生産量 28 石であったが、現在は約 8 倍の 220 石にまで生産量を増やしている。この藤岡酒造の日本酒「蒼空」は一部の間では、幻の酒とも呼ばれている。このように呼ばれるワケは、3 つの特徴と工夫にある。1 つ目は良質な水である。伏見で最も上流に位置し、質・量ともに最高の水を使用している。2 つ目は、炭素ろ過をしないことである。通常日本酒は長期保存のため炭素ろ過をする必要がある。この工程によって無色透明になり、すっきりとした味わいになる。しかし、藤岡酒造では日本酒本来のライムグリーン色と濃厚な味わいを楽しんでもらうために、あえて透明な瓶を使用し炭素ろ過をしない。3 つ目は 500ml の瓶である。冷蔵庫のポケットに納まり、夫婦やカップルで飲み切れる 500ml サイズで販売している。これらのこだわりから幻の酒とまで呼ばれている。

さらに分析するため、マーケティングの 4 P 分析を行った。製品面は上記の通りである。価格面は平均 1400 円（500ml あたり）のところ藤岡酒造は 1980 円とやや高い。流通面では酒蔵での対面販売、公式ネット通販、提携している飲食店と限られている。このことから、藤岡酒造は差別化集中戦略をとっているといえる。

3. 研究テーマの課題

4 P 分析の結果、藤岡酒造はプロモーションが不十分であるということが分かった。藤岡酒造では、instagram と Twitter で酒造りの様子や商品の紹介などプロモーションを行っている。しかし、これは藤岡酒造を知っている前提で検索しなければ目に入りにくい。また、酒造見学も行っているが、酒造りの時期ではない 6～9 月の短期間のみである。そこで、私たちは藤岡酒造を知らない人に 1 から知ってもらえるようなプロモーションが必要であると考えた。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

日本酒試飲イベントへの参加。

「SAKE Spring」 お酒の魅力を発信すべく活動している全国で展開する利き酒イベント。

京都では木屋町、先斗町で開催されている。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

藤岡酒造に足を運び、社長である藤岡正章氏に聞き取り調査。

6. 結果や今後の取り組み

藤岡酒造とイベント参加に向けて協議を繰り返し、さらなる顧客の獲得を目指す。

7. 参考文献

- 上野恭裕、馬場大治『経営管理論』中央経済社、2017 年
- 須藤芝俊、篠田典子、高田昭則、木崎康造.清酒の価格調査.
<https://www.nrib.go.jp/data/pdf/syutyo0302.pdf> (2019 10/19 アクセス)
- Sake Spring, <http://sakesp.com/kyoto/#about> (2019 11/1 アクセス)

【画像提供】

- https://blog.goo.ne.jp/toril_011/e/7e2e2a84a0fb89d8238cfabfbef1f18 (2019 10/21)
- <https://publicdomainq.net/couple-wine-0011740/> (2019 10/21)
- <https://japaneseclash.jp/trend/about/gekkeikan> (2019 10/21)
- <https://lohaco.jp/event/nihonsyu/> (2019 11/2)
- <https://kyoto-sakeblog.com/2757> (2019 11/3)
- www.artbank.co.jp/stock/illust/image_html/gotoyuki/1-C-YUG238.html (2019 11/7)
- <https://getnews.jp/archives/805633> (2019 11/8)

- パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

- 発表時に使用する成果物（例. 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

【企画シート作成上の注意】 ※「第 10 回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、翌年 3 月に公開予定の「日経ビジネス電子版」にリンクされた特設サイトに掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただく場合がございます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。